

第 4 学年 道徳 学習 指導案

4年2組 指導者 森重孝介

主 題 分かり合うために大切なことは B「相互理解、寛容」

教材名 一年生との交流会（出典：文溪堂 4年生の道徳 別冊資料）

資質・能力
①活用できる知識・技能
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを受けとめる力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性(感性、自己肯定感など)

1 主題について

本学級の子どもたちは、困っている相手に優しい言葉をかけたり、トラブルがあったときには話し合ったりするなど、思いやりのある行動や穏やかな解決をしている。しかし、互いの考えや意見が対立したときには、感情的に言い合いをしたり、相手の考えや意見が理解できないままになったりすることがあり、もやもやした感情を抱えてしまう子どももいる。このような子どもたちが、考えや意見が対立した原因と分かり合えない問題の解決方法を考えていく。このことは、互いの考えや意見を分かり合おうとする態度を養うことにつながるであろう。

本時は、内容項目B「相互理解、寛容」に基づき、子どもたちが、相手の立場に立って考えや意見を理解することや、相手の理解が得られるように自分の考えや意見を伝えることの大切さに気づき、相手を尊重しようとする態度を養う学習である。子どもたちは、自分とのかかわりでその大切さを捉えることで、相手と分かり合うことについて自分の考えを深めていく。本教材「一年生との交流会」は、下校時にかずきとそうたが1年生との交流会について話し合う場面から始まる。かずきの「手つなぎおに」の案に、そうたは「あぶないよ」と否定する。そうたの「紙しばい」の案に、かずきは「紙しばいなんて」と否定する。考えや意見の対立から生じた会話は言い合いとなってしまうのだが、自分の考えや意見を否定されることで感情的になる様子は、子どもたちの経験上にもあり、自分とのかかわりで捉えやすいといえる。このことは、2人の考えや意見が対立したことで起こった問題を自分とのかかわりで捉え、解決方法を考えていくことにつながるであろう。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- 授業の導入において、「考えや意見が対立して言い合いになったことがあるか」と問う。そうすることで、分かり合うことについて考えるきっかけをもつことができるようにする。
- 2人が言い合いとなった場面のみ教材文を提示し、感想を交流するように促す。そうすることで、考えや意見が対立した原因と解決方法を自分なりに考えることができるようにする。
- 子どもたちから出た解決方法についての考えや意見に対して、本当にできるのか全体に問い返す。そうすることで、分かり合うことの難しさを自分とのかかわりで捉えることができるようにする。
- 「今の自分にとって分かり合うために大切なこと」と「これからの自分について」を観点に振り返りを行うように促す。そうすることで、今の自分にとって、相手と分かり合い、考えや意見の対立が起こらない伝え方や聞き方を考えることができるようにする。

2 本時案 【平成28年12月2日 14:30～15:15 4年2組教室】

- (1) ねらい かずきとそうたとが対立した原因と解決方法を話し合うことをとおして、相手と分かり合うことの大切さに気づき、自分の考えや意見を理解が得られるように伝えたり、相手の考えや意見を尊重して聞いたりしようとする態度を養う。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 相手と分かり合えなかったことについて振り返る (5分)</p> <p>学習内容 ・今の相互理解についての捉え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生との交流会の話し合いでは言い合いになってしまったね。 ・言い合いをして嫌な思いをしたよ。 	<p>○相手と言い合いになった経験を問う。そうすることで、分かり合うことについて考えるきっかけをもつことができるようにする。</p>
<p>② 教材文を読み、原因と解決方法を話し合う (35分)</p> <p>学習内容 ・相互理解の難しさ ・相互理解の大切さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かずきとそうたも言い合いになっているね。 <p>A かずきみたいに「紙しばいなんて」と言われたら腹が立つよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かずきは自分の意見が反対されたことが嫌だったのだよ。僕もそういうことがあったよ。何か悪口を言われたみたいで。 ・そうたも怒って言い返したから、言い合いになるよね。 ・そうだが「ええっ」と言いながら反対したのも、私だったらむっとするなあ。でも、どうしたら言い合いにならなかったのかな。 ・かずきもそうたも、すぐに反対するのではなく、まずは相手の意見をしっかりと聞く必要があったよね。 <p>本当に相手の意見をしっかりと聞くことができますか。</p> <p>B 私は聞けないかも。自分の意見の方がよいと思うことがあるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は聞くことができるよ。相手の話を聞いたら、そっちの意見の方がよいなと思ったことがあるもの。 ・言い方も大切だよ。僕は腹が立つとどうしても言い方がきつくなってしまうよ。だから言い合いになってしまう。 ・僕は言い合いになるなら、相手のことを考えて言わないよ。 <p>言わないままだとどうなるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしかに言い合いにならないけれど、受け入れるだけでは本当の解決にはならないし、相手と分かり合うことはできないよ。 ・そうだよね。自分の意見を相手に伝えることが大切だね。けれども相手のことを考えて伝えないと言い合いになってしまうよ。 ・互いの考えを理解するには、伝え方や聞き方が大切だと分かったよ。今の自分は、できているのか考えてみよう。 	<p>○2人が言い合いとなった場面のみ教材文を提示し、感想を交流するように促す。そうすることで、考えや意見が対立した原因と解決方法を自分なりに考えることができるようにする。</p> <p>○解決方法についての考えや意見に対して本当にできるのか、全体に問い返す。そうすることで、分かり合うことの難しさを自分とのかかわりで捉えることができるようにする。</p> <p>○以下の観点で、振り返るように促す。そうすることで、相手と分かり合い、考えや意見の対立が起こらない伝え方や聞き方を考えることができるようにする。</p>
<p>③ 分かり合うために大切なことについて考える (5分)</p> <p>学習内容 ・相手を尊重しようとする態度 ・理解が得られるような伝え方</p> <p>B 私は、これからはたとえどんなに意見が違っていても、まずは相手の話を聞くことを心がけたいよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ受け入れるだけでなく自分の考えも伝えることが必要だね。 ・相手のことを考えて伝えたり聞いたりしていこう。1年生との交流会についての話し合いに生かせるといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の自分にとって分かり合うために大切なこと ・これからの自分について

3 板書計画

